





認定NPO法人 フードバンクふじのくに 活動報告書



INDEX

1. はじめに

理事長挨拶	P4
団体運営の仕組み	P6
フードバンクふじのくにの目標	P7
事業の仕組み	P9

2. 食料寄付から提供までの流れ

食料寄付を受ける	P11
食料を管理する	P23
食料を提供する	P26

3. フードバンク事業推進委員会

4. 統計・アンケート	P29
メディア掲載・活動報告	P34
利用者の声	P36

5. 後援企業 団体

6. 会員募集 ボランティア募集



地域社会から信頼されるフードバンクをめざして

フードバンクふじのくには、処分せざるを得ない食べ物を個人や企業などから寄贈していただき、それを生活困窮者に無料でお渡しするため、2014年5月20日より活動を開始し、5年が経過しました。当初は、任意団体としてスタートしましたが、その後、2014年10月にNPO法人の認証を受け、さらに2017年4月からは社会的に公益性の高い団体として認知された認定NPO法人の認定を静岡市から受けました。こうして、フードバンクふじのくには、地域の皆様と共に歩み、そして地域社会にとってかけがえのない活動を展開する団体として皆様に知られるようになりました。

農林水産省のデータによれば、日本における食品ロスは、年間643万トンとされ、この量は世界全体の食料援助量(約320万トン)の2倍です。このように、食べられるにも関わらず捨てられている食料を有効に活用することは、日本社会にとっても極めて重要な課題であると言えます。このような課題に静岡県内で果敢に挑んでいるのが、フードバンクふじのくにです。

2018年10月より「生活困窮者自立支援法」が改正されました。この法律の改正により、生活困窮状態にある人々への地域の皆様の関心も増大しています。このような状況の中にあって、フードバンクふじのくにへの支援の輪も年々広がりを見せています。フードバンクふじのくには、県内諸団体の連携によるコンソーシアム方式により設立されました。その後の活動の中において、そのような設立方式の効果がいかんなく発揮されています。静岡県をはじめ、県内35市町のすべてと関係を築くことができましたし、地域福祉の最前線で活動を展開している市町社会福祉協議会とも連携を強化することができました。さらに、県内企業の皆様とも連携を深めることができ、食料を寄贈していただいています。まさに、フードバンクふじのくにの活動を核にして、生活困窮者への「食」を通じた支援の体制が静岡県内に構築されつつあることは2018年度の成果だと考えています。加えて、2019年1月に行われましたフードドライブでは、県内231か所に回収ボックスを設置することができました。そして、県民の皆様から10.82トンにのぼる食料を寄贈していただきました。これらの食料は早速食に事欠く人々のもとに届けられています。

フードバンクふじのくには、今後も静岡県内における食品ロスの削減に力を尽くすとともに、食に事欠く人々を食の面から支援し、そのような境遇にある人々が安定した生活を営むことができるよう声援を送っていきます。

最後になりましたが、これまでフードバンクふじのくにをご支援くださいました皆様に心よりお礼を申し上げます。皆様の厚いご支援のおかげで、食を必要としている人々に食料切れを起こすことなく支援することができましたし、何ら事故を起こすことなく活動を継続することができました。ここに、フードバンクふじのくにの2018年度の活動報告書をお届け致します。ご一読いただけますと幸いです。これからも皆様の一層のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

認定NPO法人
フードバンクふじのくに
理事長 日詰 一幸



認定NPO法人
フードバンクふじのくに
理事長 日詰 一幸

団体運営の仕組み

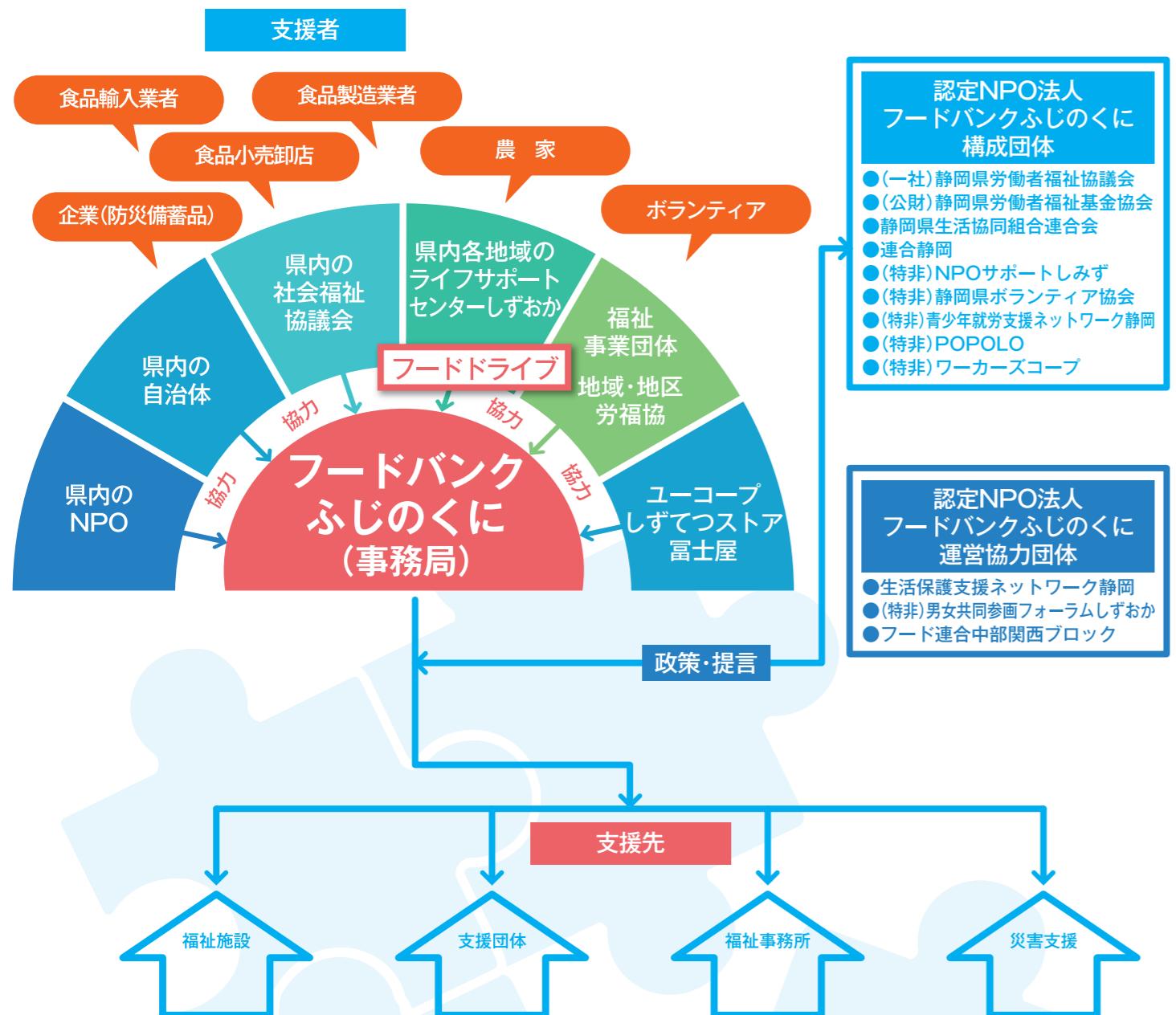
フードバンクふじのくにの目標

フードバンクふじのくにの仕組み

フードバンクふじのくには、処分せざるを得ない食料を有効活用することにより、食料を無駄にせず、食を分かち合い、命や人権を守るという目標を掲げ、各方面の団体の協力を得て、法人設立に至りました。

「フードバンクを地域の仕組みとして定着させ、食を通じて人の縁を結び、お互いが助けあう、困った時はお互い様な社会作りを目指す」ために10を超える団体が1つの連合体となって組織を運営しております。

フードバンクふじのくにの設立が、私たちの社会の在り方を改めて見直すきっかけとなり、「もったいない」食料を「ありがとう」という気持ちに変えることが当たり前の社会になることを、私たちは強く望んでいます。



①食料支援による新しいセーフティネットの構築

生活保護、生活困窮者自立支援法による自立相談窓口、社会福祉協議会の貸付制度等、私たちが生活に困窮した際に相談でき、困窮した状況を解決する「セーフティネット」は、社会の中で制度化されてきてますが、まだまだ一般化されるまでには至っておりません。

私たちが目指す「食料支援による新しいセーフティネット」は上記の社会福祉・社会保障制度に誰もが日々必要としている「食」という視点を取り入れ、明日の食事に事欠く人々がどこでも助けを求めることができるような新たなセーフティネットの構築を目指し、静岡県内の自治体、社会福祉協議会、NPO、福祉施設、相談窓口と連携を行っています。そして、フードバンクが地域の仕組みとして、様々な方々に認知され、活用されるような存在になることを目指します。

事業の仕組み



個人からは家庭で使わなくなった食料、食品企業からは印字ミスや外箱のつぶれ・生産過剰品、一般企業や行政からは防災備蓄品で期限が迫ってきた食料、スーパーからはお客様から募った食料や従来の流通ルートに乗らない食料、農家からはお米など、「本来であれば、まだ安全に食べられるが、利用される可能性が低い食料」を無償で寄贈していただきます。寄贈された食料は賞味期限別に分けて、倉庫で保管します。

②フードバンクを活用した食品ロス削減活動

厚生労働省の推計によると日本の食品ロスは643万トンに上ります。この量は日本人1人当たりに換算すると、毎日お茶碗約1杯分に相当します。

私たちはこの本来安全に食べることができる「もったいない」食料を「ありがとう」に変える為、食品企業から生じる規格外品、3分の1ルールにより処分せざるを得ない食品、自治体や企業が抱える災害備蓄品等をフードバンク活動に寄贈していただけるように寄贈を呼びかけています。

また、自治体や企業だけではなく、個人の家庭に眠っている食料を広く募集するキャンペーンである「フードドライブ」を通して、食品ロスの現状を広く県民の皆様に広め、フードバンク活動を利用した食品ロス削減を推進しています。



一方で生活に困った方は、行政、社会福祉協議会、その他支援団体が運営する相談機関に相談に行きます。その相談の結果、食料支援が必要であると判断された場合、相談機関からフードバンクふじのくにまで支援依頼がきます。依頼は書面で出され、世帯人数・希望支援期間・家族構成・ライフラインの有無・アレルギーの有無といった情報が記載されています。受け取った情報を元に、現在倉庫にある食料の中から選択してセット(1人14日分で10kg程度)を作成し、相談機関へ郵送等の方法で届けます。

私たちは、生活に困った方と直接お話するわけではありませんが、この情報から家庭状況を想像し、本当に必要としている食料を選定しながら箱詰め作業を行っています。

また、食料が企業等からフードバンクへ寄贈される際には、必ず目視による品質及び賞味期限のチェックを行い、安全性を確認します。そして行政等に渡される際には出所の理解と転売しない・賞味期限内に使用する等適切な食料利用の規約をまとめた「配達記録書」を発行します。本書類にはどの企業から来た食品がどのくらいの量渡っているかが書かれており、主に食品に問題があった際に追跡可能性(トレーサビリティ)を確保することを目的として使用しています。

行政等が食料を生活困窮者へと届ける際、行政等の窓口に取りに来てもらう方法か、訪問して届ける方法がありますが、当法人では後者を推奨しています。困っている人の住居や家庭を実際に見ることで、より詳細な現状や生活困窮に陥った理由に気付くことができるからです。



-10-

② 食料寄付から提供までの流れ

寄贈

一般社団法人静岡県労働者福祉協議会

参画団体でもある静岡県労働者福祉協議会の呼びかけにより、県内に21ヵ所にある各地区労福協や企業の労働組合より、様々な方法で食料の寄贈を受けました。また食料だけでなく、活動資金についても多大なご協力をいただいています。



フードドライブで集めた食品を寄贈いただいている。



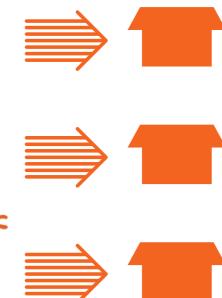
富士地域労福協からの寄付金寄贈式

地域・地区労働者福祉協議会で募集していただいた食料は以上のような流れでの寄贈となっています。

構築されているスキーム



検品後相談機関を通じて
食料希望者へ届く



- ① 地域・地区労働者福祉協議会で食料募集していただきます。(フードドライブを実施)
- ② 地域・地区労働者福祉協議会で集めた食料を静岡県労働者福祉協議会に集約します。
- ③ 集約された食料をフードバンクふじのくにが回収をします。
- ④ 寄贈いただいた食料の検品後、各相談機関や福祉施設を通じ食料希望者の皆様へ届けられます。



浜松労福協まつりでのフードドライブ

NO 平成 年 月 日

特定非営利活動法人フードバンク依頼書兼利用申込書

特定非営利活動法人フードバンクふじのくに 紙
TEL: 054-248-6177 FAX: 054-248-6178

依頼者情報: □ 名称 _____ 職業 () _____

□ 住所 (〒) _____

□ TEL/FAX _____

以下のとおり、フードバンクについて依頼いたします。

1. 利用分量 _____ 人 _____ 歳分

2. 利用者情報
氏名(ふりがな): _____

性別(姓)(年齢・性別): () (男性・女性) 希望登録
家族の構成(性別・年齢を記入)例: 実家45歳男(21歳女)(60歳女)(1)

ライフライン・調理家電の使用状況 全使用できるものには○をつける。ないものは×をつける。
電気 ガス 水道 オーブン お湯を沸かせる 電化 (電気ポット・コンロ等) 乾燥器 電子レンジ その他

3. 生活困窮者自立支援 対象者
□ 対象者 □ 対象者

4. 利用の理由
□ 平金支給までの間ぎ □ 水難活動中の間ぎ
□ 助けまでの間ぎ □ 生活保護費支給までの間ぎ
□ その他 _____

5. 配達方法
□ フードバンクふじのくにへ(月 日 時間)取りに来る。
□ お問い合わせを希望する(月 日 時間)
□ その他 _____

6. その他 _____

7. フードバンクふじのくにへの利用依頼回数()度回
自回数回日 年 月 日
※ここで得た個人情報をつきましては、フードバンク事業以外に利用する事はない、個人情報の適正な管理・安全対策を行い、個人情報の紛失・改ざん・漏洩の防止に努めます。

寄贈

生活協同組合ユーコープ

生活協同組合ユーコープからは、毎週金曜日に食品の寄贈を受けています。寄贈品は、おうちCO-OP専用の物流センターである座間セットセンターで余った商品などと、やむを得ない理由でおうちCO-OPの配達直前にキャンセルとなった商品です。2018年度は、静岡・富士に加え・伊豆・御殿場・牧之原・浜松北・浜松南の計7つの宅配センターからのキャンセル品も受けようになり、年間で3.1トンの寄贈を受けました。

また、夏と冬に開催していますフードドライブでは、静岡県内の全17店舗より組合員から寄せられた食品に加え、各店舗で出された陳列期限が過ぎた食品(賞味期限2ヶ月以上残っているもの)、しづおか県本部からは会議などの参加者から寄せられた食品の寄贈を受けています。寄贈量は、夏に698キロ、冬928キロ、合計約1.6トンに上りました。



店舗でのフードドライブ品を静岡センターで受け渡しの様子



年間寄贈重量
約5トン

構築されているスキーム

神奈川座間市
ユーコープ物流センター



静岡市
ユーコープ宅配センター



検品後相談機関を通じて
食料希望者へ届く

常設回収ボックス設置店			
掛川店	藤枝水守店	いろは店	御門台店
菊川店	茶町店	末広店	草薙店
菊川南店	藤枝高洲店	新静岡セノバ店	興津店
小笠店	安東店	流通通り店	沼津駅前店
島田店	千代田店	田町店	富士吉原店
島田東店	音羽町店	丸子店	富士駅南店
駿河台店	あさはた店	みずほ店	長泉店
薮田店	駒形店	宮本町店	
岡部店	長谷通り店	入江店	

寄贈

株式会社静鉄ストア



構築されているスキーム



静岡県内のしづてつストア34店の協力をいただき、毎月2回、静岡市内の配送センターより、食品の寄贈をいただいています。今年度は約13トンの食品の寄贈を受けました。34カ所の店舗内には、常設でフードボックスを設置していただき、県内の方々に年間を通じ、食品寄贈ができるスポットとしてフードバンク活動への協力をいただいているいます。



寄贈

株式会社スーパー富士屋



焼津市内のスーパー富士屋4店舗にフードボックスを常設していただいている。今年度は来店されるお客様より1,440キロの食品の寄贈をいただきました。

スーパー富士屋では食品寄贈を募るだけではなく、生活に困窮された方がフードボックスを見た際、最寄りの生活相談窓口に繋がるように、相談機関のチラシを目に留まりやすいようボックスの脇に添えてあります。スーパーと連携し、事業を継続することで生活困窮者を制度から漏らさない「セーフティネット」あるいは、相談者を窓口へ繋ぐ「プラットホーム」としての役割も担っていただいている。



常設回収ボックス設置店

東名店	焼津南店
焼津三丁目店	田尻北店

構築されているスキーム(スーパーのセーフティネット化)

相談窓口のチラシを設置

生活
困窮者

来店



相談窓口

困窮からの
脱却

寄贈

一般社団法人静岡缶詰協会

本年度は一般社団法人静岡缶詰協会が声掛けをいただいている、協会加盟企業のはごろもフーズ、SSKセールス、ホテイフーズ、いなば食品の4社より、合計で約3トンの食品寄贈をいただきました。

静岡缶詰協会にはフードバンク活動開始以来、5年間にわたり副食であるおかず類を中心に協力をいただいています。



はごろもフーズからの寄贈



SSKセールスよりの寄贈



ホテイフーズよりの寄贈



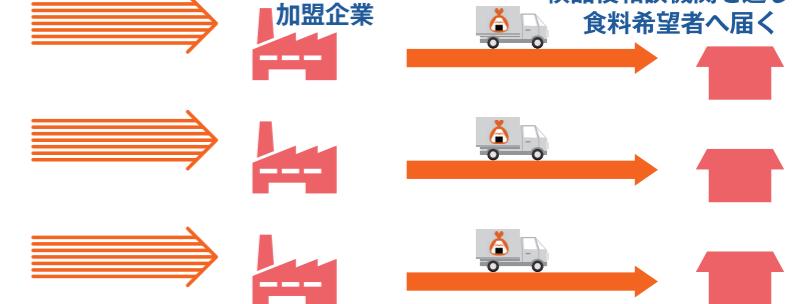
いなば食品よりの寄贈

静岡缶詰協会

構築されているスキーム(食料回収)

静岡缶詰協会
加盟企業

検品後相談機関を通じて
食料希望者へ届く



年間寄贈重量
約3トン

寄贈 ライオンズクラブ国際協会 334-C地区(静岡県)

ライオンズクラブ国際協会334-C地区では、【地区78クラブ統一奉仕の日】に合わせ、フードドライブを開催していただきました。静岡県内78クラブより、生活困窮者が使いやすい、カップラーメンや副食となる缶詰・レトルト食品など、約5.5トンの食品を寄贈いただきました。また、資金面での協力もいただいています。



2018年10月8日
地区78クラブ統一奉仕の日

年間寄贈重量
約5.5トン

寄贈 株式会社 大丸 松坂屋百貨店

昨年に引き続き、(株)大丸 松坂屋百貨店 松坂屋静岡店で行われる「エコフレリサイクルキャンペーン」期間中に、松坂屋静岡店の8階にて、フードドライブを開催し、来場された方々に食品をお持ちいただきました。

今後も、キャンペーに併せフードドライブを開催していただく予定です。



企業・団体からの寄贈

NECネットエスアイ株式会社
NPO法人 静岡市障害者協会
SSKセールス株式会社
飯田連合山原自治会
いなば食品株式会社
医療法人 海仁 海谷眼科
株式会社J-オイルミルズ
株式会社村上開明堂
株式会社旭化成アビリティ 富士営業所
株式会社いちまる
株式会社静岡朝日テレビ
株式会社静岡第一テレビ
株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋静岡店
株式会社タカラ・エムシー
株式会社中村組
株式会社マルハチ村松
株式会社ミダック
株式会社明電舎 沼津事業所
蒲原ライオンズクラブ
協和発酵キリン株式会社
公益社団法人フードバンクかながわ
静岡青葉ライオンズクラブ
静岡県第三宗務所寺族会
静岡県仏教婦人会
静岡県立大学 短期大学部
静岡県立浜松西高等学校
静岡県立浜松南高等学校
静岡済生会総合病院
清水日本平ライオンズクラブ
清水羽衣ライオンズクラブ
清水みなどライオンズクラブ
清水ライオンズクラブ
社会福祉法人 萱寮
宗教法人 摩利支天山大乗王院
心岳寺
生活協同組合バルシステム静岡
全労済静岡推進本部
曹洞宗静岡県第一宗務所青年会
東芝テックソリューションサービス株式会社
東芝ライテック株式会社 沼津工場
トヨタ自動車東日本株式会社
日清紡メカトロニクス株式会社
認定NPO法人 浜松NPOネットワークセンター
はごろもフーズ株式会社
浜松赤十字病院
日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社 清水事業所
風土菓 廬原屋
ホテイフーズコーポレーション
ポリプラスチックス株式会社 富士工場
三島文化会館
三井・ケマーズ フロロプロダクツ株式会社
妙泉寺
矢崎部品株式会社 大浜工場
ヤマハ発動機ビズパートナー株式会社
横浜ゴム株式会社 三島工場
ライオンズクラブ国際協会334-C地区(静岡県)
沼津市青年仏教会
沼津市佛教婦人会

※掲載を希望された企業・団体様のみを掲載しています。
(50音順)

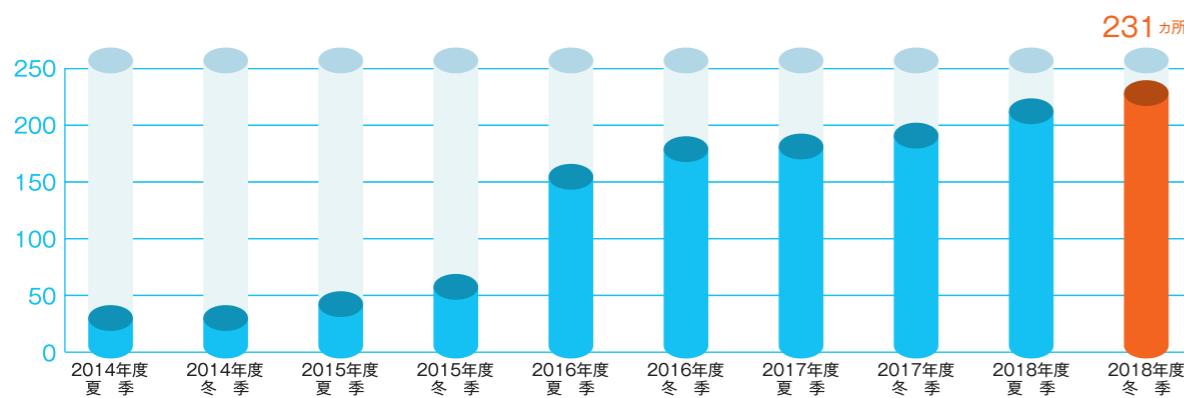
寄贈

個人

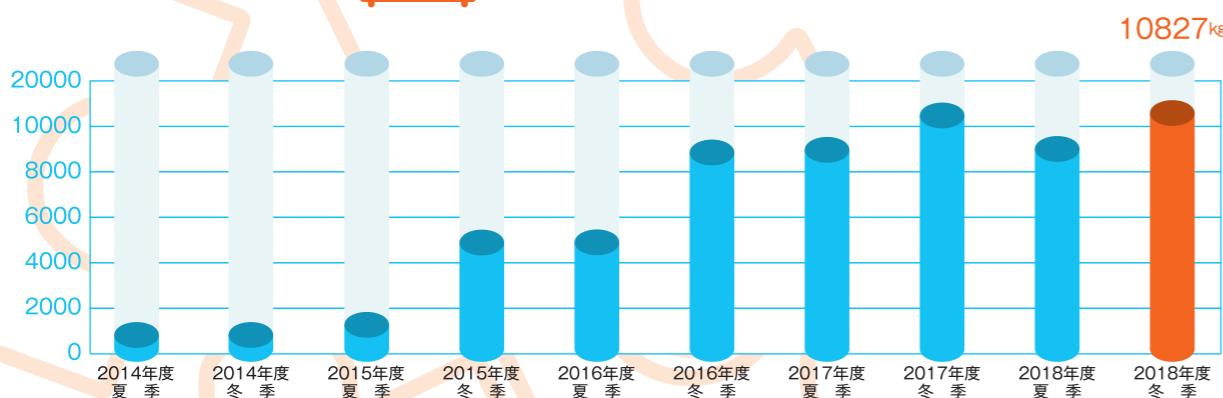
フードドライブ

フードバンクに依頼する人の多様なニーズに応えるため、県内の関係団体の協力を得て、一般の家庭で余っている食料を募集する、フードドライブ事業をお中元・お歳暮で家庭に食料が余ることが想定される夏季と冬季の年2回開催しています。冬季フードドライブでは全国最多の231拠点で行うことが出来ました。また、フードドライブは「簡単に出来るボランティア」として、県民のボランティア意識の向上及びフードバンクの知名度の向上といった効果も期待できます。

フードドライブ回収拠点数



フードドライブ回収量



静岡県下・回収ボックス設置個所数



西部

56箇所

中部

102箇所

東部

73箇所

静岡県内に広がるフードドライブの回収拠点



行政・社協の取り組み

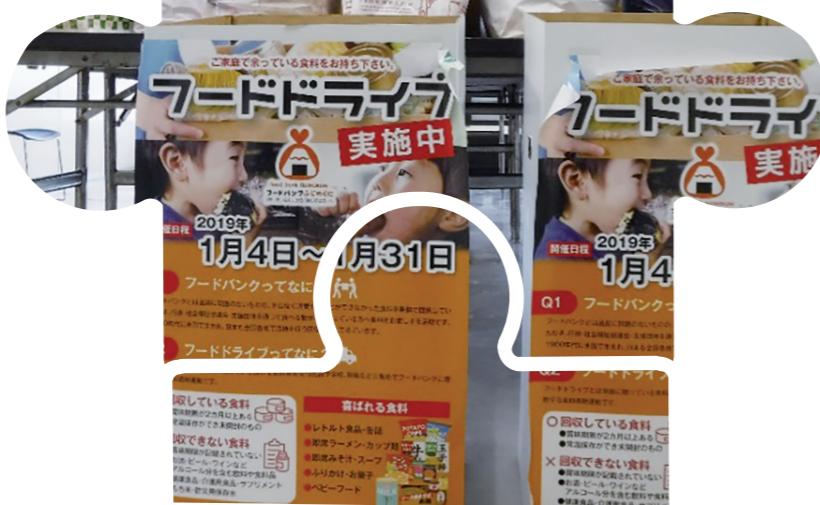
富士市内の フードボックス設置場所 一覧

- 富士市役所
- 吉原まちづくりセンター
- 伝法まちづくりセンター
- 今泉まちづくりセンター
- 青葉台まちづくりセンター
- 吉永まちづくりセンター
- 元吉原まちづくりセンター
- 須津まちづくりセンター
- 浮島まちづくりセンター
- 原田まちづくりセンター
- 富士見台まちづくりセンター
- 神戸まちづくりセンター
- 吉永北まちづくりセンター
- 大淵まちづくりセンター
- 富士駅北まちづくりセンター
- 富士北まちづくりセンター
- 富士駅南まちづくりセンター
- 田子浦まちづくりセンター
- 富士南まちづくりセンター
- 岩松まちづくりセンター
- 岩松北まちづくりセンター
- 富士川まちづくりセンター
- 松野まちづくりセンター
- 鷹岡まちづくりセンター
- 広見まちづくりセンター
- 天間まちづくりセンター
- 丘まちづくりセンター

富士市役所の取り組み

富士市役所では、冬季フードドライブから新たに市内のまちづくりセンター・26カ所にフードボックスを設置し、フードドライブを行っていただきました。例年、フードドライブ開催期間には、市民の皆さまから「寄贈できる場所はどこか?」とのお問合せも多く寄せられてきました。寄贈場所が増えることにより、ますますフードバンク活動に市民の皆さまが参加しやすい環境が整備され、夏季フードドライブの約3倍の食料品が寄贈されました。

また、これまで富士市では、フードドライブ時期の広報などフードバンク活動のPRにもご協力をいただいています。



伊豆の国市社会福祉協議会・伊豆市社会福祉協議会の取り組み

今年度より、伊豆の国市社会福祉協議会・伊豆市社会福祉協議会では、食品寄贈でご協力をいただいている生活協同組合ユーコープからの食品を直接回収し、検品・仕分けを行い生活困窮世帯への支援を始めています。この取り組みは、フードバンク事務局、ユーコープ、社会福祉協議会の間で事前に協議し、2つの社会福祉協議会ではフードバンクの研修を受けていただいた後に開始しました。この取り組みにより、今まで以上のスピーディーな支援が可能になりました。

伊豆の国市 社会福祉協議会

2018年度
食料支援件数

37件

伊豆市 社会福祉協議会

2018年度
食料支援件数

7件

構築されているスキーム

伊豆宅配センター



検品後相談機関を通じて
食料希望者へ届く



静岡県佛教婦人会の取り組み

静岡県佛教婦人会では、2018年11月に行われた、佛教婦人会60周年記念大会にて、参加者に【一人お米一合支援】として、お米の寄贈を呼びかけていただき、大会当日には285キロものお米が集まりました。会場入り口にはフードボックスやフードバンクの活動を紹介いただくブースも設置し、多くの方にフードバンク活動をPRしていただきました。



お米一合支援で集まったお米を3キロ
にまとめて寄贈いただきました。



東部

熱海市社会福祉協議会
伊豆市役所
伊豆市社会福祉協議会
伊豆の国市役所
伊豆の国市社会福祉協議会
伊東市役所
伊東市社会福祉協議会
河津町役場
函南町社会福祉協議会
御殿場市社会福祉協議会
清水町役場
清水町社会福祉協議会
裾野市役所
裾野市社会福祉協議会
西伊豆町社会福祉協議会
沼津市役所
沼津市社会福祉協議会
長泉町社会福祉協議会
東伊豆町社会福祉協議会
富士市役所
富士市社会福祉協議会
富士宮市役所
松崎町役場
松崎町社会福祉協議会
三島市役所
三島市社会福祉協議会
小山町社会福祉協議会
下田市社会福祉協議会
南伊豆町社会福祉協議会

中部

川根本町社会福祉協議会
静岡市役所
静岡市社会福祉協議会
島田市役所
藤枝市役所
藤枝市社会福祉協議会
牧之原市役所
牧之原市社会福祉協議会
焼津市役所
焼津市社会福祉協議会
吉田町役場
吉田町社会福祉協議会

西部

磐田市役所
磐田市社会福祉協議会
御前崎市役所
御前崎市社会福祉協議会
湖西市役所
湖西市社会福祉協議会
掛川市役所
菊川市社会福祉協議会
浜松市役所
浜松市社会福祉協議会
袋井市役所
袋井市社会福祉協議会
森町社会福祉協議会

常設フードドライブ 回収ボックス設置自治体

島田市役所
島田市役所 金谷南支所
島田市役所 川根支所
六合公民館
初倉公民館

藤枝市役所 自立生活サポートセンター
藤枝市福祉センター きすみれ
藤枝市社会福祉協議会在宅福祉センター

湖西市健康福祉センター おぼと

食料を管理する



提供をいただいた食料を安全に届けるため、管理を徹底しています。

目視による確認

安全な食料を提供するため、目視による確認を3回行います。

1 寄贈を受けた際のチェック

寄贈いただいた食料を1つずつ手に取り、賞味期限切れや包装の破損等がないか確認を行います。

2 棚に入る前の確認

いただいた食料を目視で確認した後に、棚に入れます。

3 出庫する際の確認

棚に入った食料を入庫する際にも再度目視で賞味期限、破損による漏れ出しがないか確認を行います。



追跡可能な記録

寄贈いただいた食料を渡す際には「配達記録書」を発行します。本書類は食料に問題があった際に追跡可能性(トレーサビリティ)を確保することを目的として使用しています。



保険の加入

フードバンク活動を行う上で万が一事故や怪我等が生じた時に適切に対応ができるよう保険に加入しております。

- (1)食品事故が起きた時の補償
 - (2)食料運搬中に起きた事故
 - (3)ボランティアスタッフの作業中に起こった怪我
 - (4)個人情報が流出した際の対応 等



ボランティアの活躍

当法人の活動は様々なボランティア活動によって成り立っています。



食料を提供する



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
出庫件数	367件	1385件	2422件	2902件	2915件
出庫重量	約14トン	約38トン	約51トン	約60トン	約57トン

2014年に開始いたしました。フードバンク事業は今年度で5年目となります。2016年度からは県内全ての自治体と連携を取り、食を通じたセーフティネットを構築することができました。

私たちが行っていますフードバンク活動の特徴の一つとして、静岡県内の自治体・社会福祉協議会、支援団体や施設との密な連携が上げられます。私たちはその連携のなかで、個人や企業、スーパー等の小売店から食料を預かるプラットホームとしての役割を担い、相談機関の皆様は地域の食料希望者の方々から相談を受け、場合によっては直接自宅まで届け、食品を渡した後も抱える課題の解決に尽力していただいているです。

一見すると相談機関の役割・負担が多い印象を受けますが、フードバンク事業は相談機関の方々にも大変喜ばれています。その理由はフードバンクを活用した迅速な対応による「信頼関係の構築」あるいは「支援ツールとしての食料の重要さ」が上げられます。

生活に困難を抱え、窓口に来所する方の緊急的な対応をするには社会福祉協議会であれば貸付制度があり、福祉事務所等では生活保護や各種給付金や一時金等が考えられます。しかし、それらは申請から貸付、受給決定、給付まで数週間の期間を要します。その期間に

相談者の皆様に支援をする方法が少なく、場合によっては期間の長さから申請をしない方もいます。そのような方々を支援するため、フードバンクを活用し、迅速な食料支援につなぐことで信頼関係を構築することができます。また、長期支援を検討している方や訪問支援(アウトリーチ)を行う際にも何も持たずに訪問するよりは食料という日々消費する重要なものを持って訪問することで長期化した支援でも関係性を継続することができるという意見をいただいているです。

つまり、私たちが食のセーフティネットのプラットホームとなることで、各地域の相談機関の支援の幅を増やし、相談者の方も相談や申請をして終わりではなく、食品を持ち帰ることができ、申請後の待機期間の生活をつなぎとめができるようになっています。

また、フードバンクを取り巻く環境にも変化が起つります。フードバンクの新しい方向として「子ども食堂」に代表される、子どもの貧困問題への対応もその一つです。支援を行っているのはNPO団体やボランティアの方々が中心となっていますが、フードバンクがそれらの方々と積極的に関わることで、食のセーフティネットの輪を広げていきたいと考えます。



2018年度 フードバンク支援先 地区一覧

フードバンクふじのくに

東部総相談件数		支援重量(kg)	
997		17,481	
東 部	依頼数	重量(kg)	
1	伊東市社会福祉協議会	18	288.51
2	伊東市役所	49	716
3	伊豆の国市社会福祉協議会	94	931
4	伊豆市社会福祉協議会	16	159
5	下田市社会福祉協議会	6	133
6	下田市役所	3	52
7	河津町社会福祉協議会	1	18
8	御殿場市社会福祉協議会	49	834
9	三島市社会福祉協議会	41	649
10	三島市生活支援センター	44	3,296
11	三島市役所	4	57
12	小山町社会福祉協議会	9	140
13	松崎町社会福祉協議会	15	232
14	沼津市自立支援センター	13	1,402
15	裾野市役所	13	238
16	清水町社会福祉協議会	15	232
17	西伊豆町社会福祉協議会	4	106
18	長泉町社会福祉協議会	2	55
19	東伊豆町社会福祉協議会	22	344
20	南伊豆町社会福祉協議会	8	155
21	熱海市社会福祉協議会	28	331
22	函南町社会福祉協議会	32	452
23	富士市社会福祉協議会	111	1,125
24	富士市役所	376	4,251
25	団体	24	1,282

中部総相談件数		支援重量(kg)	
1,519		33,675	
中 部	依頼数	重量(kg)	
1	蒲原由比地域包括支援センター	1	13
2	吉田町社会福祉協議会	35	770
3	御前崎市社会福祉協議会	4	44
4	御前崎市役所	12	158
5	港北地域包括支援センター	1	12
6	焼津市社会福祉協議会	65	1,329
7	焼津市役所	38	608
8	清水福祉事務所	1	16
9	静岡市葵区長尾川地域包括支援センター	2	24
10	静岡市葵区役所	49	627
11	静岡市社会福祉協議会葵区	49	922
12	静岡市社会福祉協議会駿河区	179	2,898
13	静岡市社会福祉協議会清水区	63	1,077
14	静岡市駿河区大里中島地域包括支援センター	1	9
15	静岡市駿河区役所	7	115
16	静岡市清水区蒲原由比地域包括支援センター	2	17
17	静岡市清水区港北地域包括支援センター	1	16
18	静岡市清水区高部地域包括支援センター	4	57
19	静岡市清水区松原地域包括支援センター	1	14
20	静岡市清水区駿田庵原地域包括支援センター	2	23
21	静岡市清水区役所	89	1,370
22	静岡市清水区由比蒲原地域包括支援センター	1	10
23	静岡市立大里中学校	1	26
24	静岡地方検察庁	10	112
25	大川小中学校	1	37
26	大里高松地域包括支援センター	1	14
27	地域福祉権利擁護センター	1	9
28	中島学区(地区)社会福祉協議会	11	155
29	島田市金谷高校	1	10
30	島田市社会福祉協議会	1	6
31	島田市役所	401	6,091
32	藤枝市自立生活サポートセンター	87	2,209
33	藤枝市西益津地区社会福祉協議会	6	451
34	藤枝市役所	5	52
35	飯田庵原地域包括支援センター	1	19
36	牧之原市社会福祉協議会	22	315
37	牧之原市役所	4	46
38	団体	359	13,998

西部総相談件数		支援重量(kg)	
395		5,669	
西 部	依頼数	重量(kg)	
1	掛川市社会福祉協議会	32	528
2	掛川市役所	13	245
3	菊川市社会福祉協議会	5	74
4	菊川市役所	12	206
5	湖西市社会福祉協議会	25	311
6	湖西市役所	9	176
7	森町社会福祉協議会	8	133
8	静岡県立新居高校	4	32
9	静岡県立大平台高校	1	9
10	袋井市社会福祉協議会	20	357
11	袋井市役所	63	1,033
12	磐田市社会福祉協議会	21	435
13	磐田市役所	24	379
14	浜松市社会福祉協議会	67	688
15	浜松市生活自立相談支援センターつながり	77	809
16	浜松市東区役所	1	24
17	団体	13	228

県外(災害支援等)	依頼数	重量(kg)
1 神奈川フードバンクプラス	2	96
2 フードバンクさいたま	1	282
3 フードバンクセカンドハーベスト沖縄	1	246

3 事業推進委員会



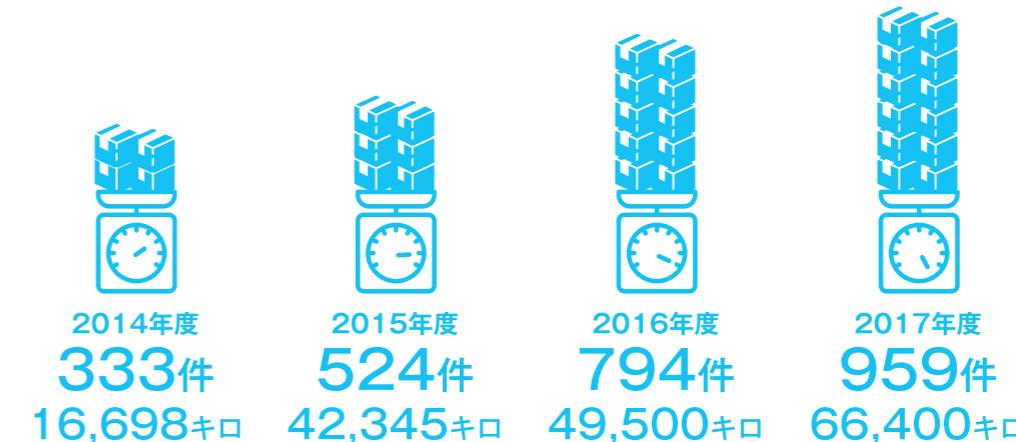
毎年1回、フードバンク事業を展開していくうえで、連携関係が必要と考えられる、県内の行政および、社会福祉協議会を対象とした意見交換会を実施しています。事業推進委員会ではフードバンクへの先駆的取り組みを行っている自治体や社会福祉協議会に活動報告をしてもらい、各自治体、社協に共有するとともに、集まった意見を集約しフードバンク事業に反映しています。

2019年6月10日(予定)
社会福祉協議会職員対象
事業推進委員会

2019年6月17日(予定)
県および市町行政職員対象
事業推進委員会

4 統計・アンケート

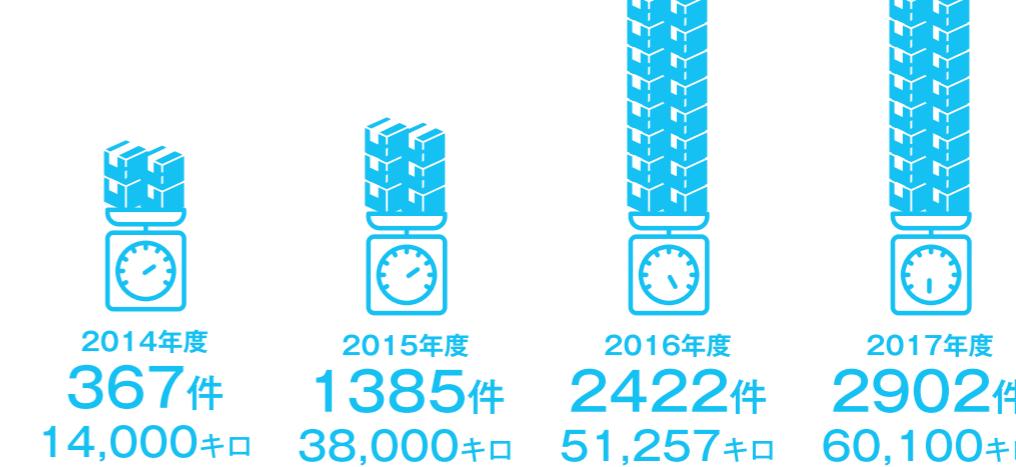
寄贈件数・寄贈重量



2018年度
972件
69,248キロ



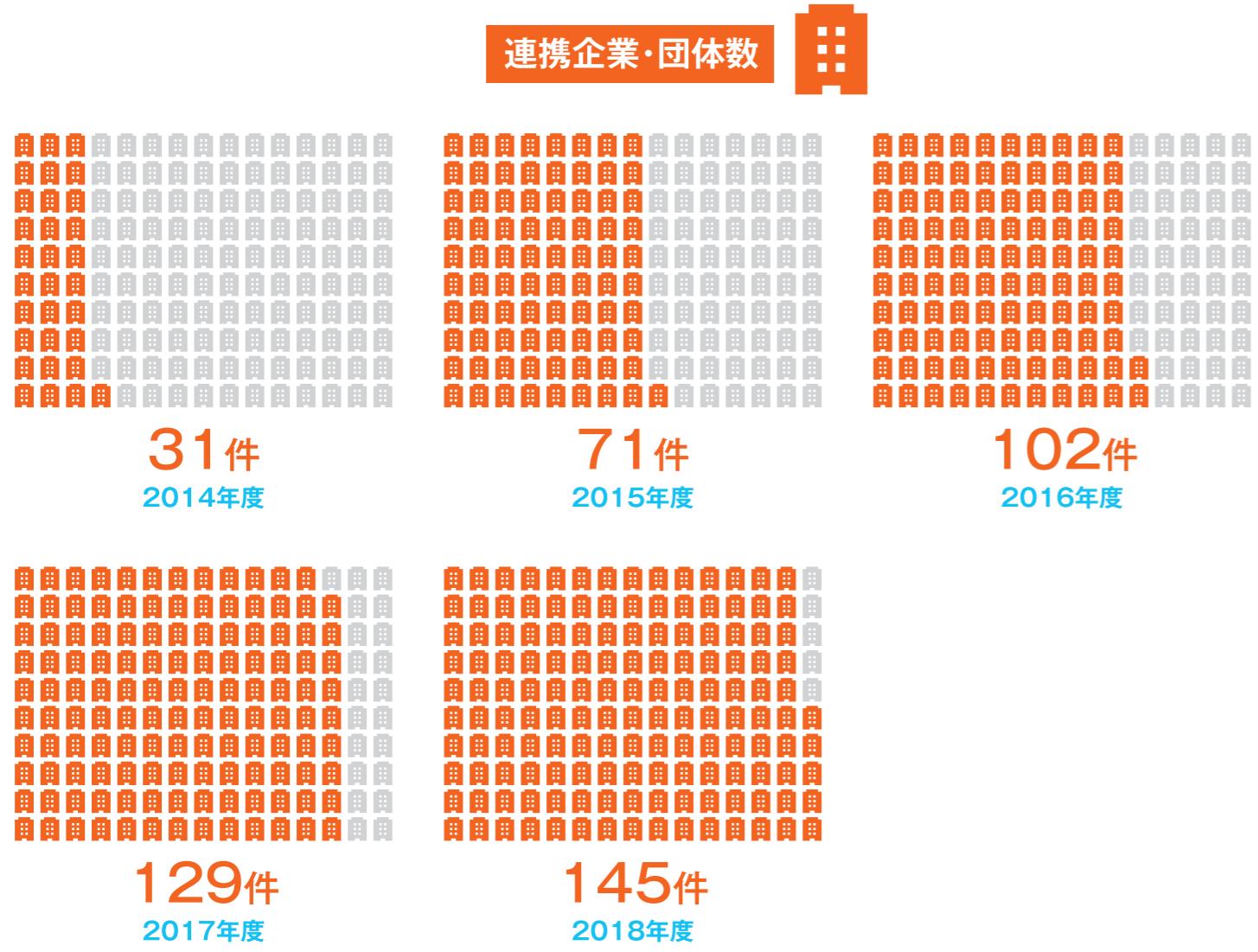
出庫件数・出庫重量



2018年度
2915件
57,499キロ



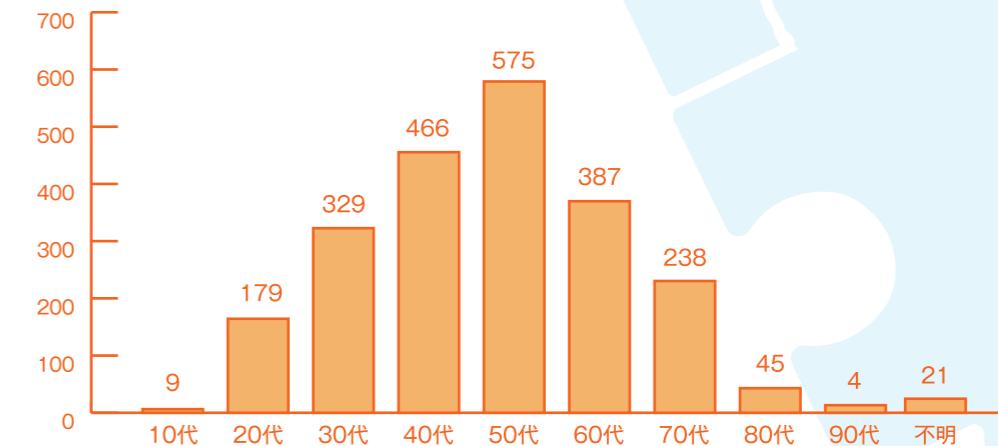
フードバンク利用者の統計



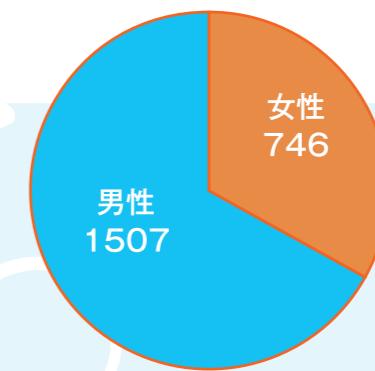
フードバンクふじのくにでは、支援対象者の傾向を探り、今後の支援体制に役立てるため、今年度フードバンクを利用された方々について、様々な角度から集計を行いました。

2019年3月31日までにフードバンクふじのくにによせられた総依頼数2,915件のうち、福祉事務所や社会福祉協議会等からいただいた依頼2,253件に対し、「年齢別・男女別・利用回数別・利用理由別・世帯人数別・ライフライン別」に集計を行いました。

①年齢別

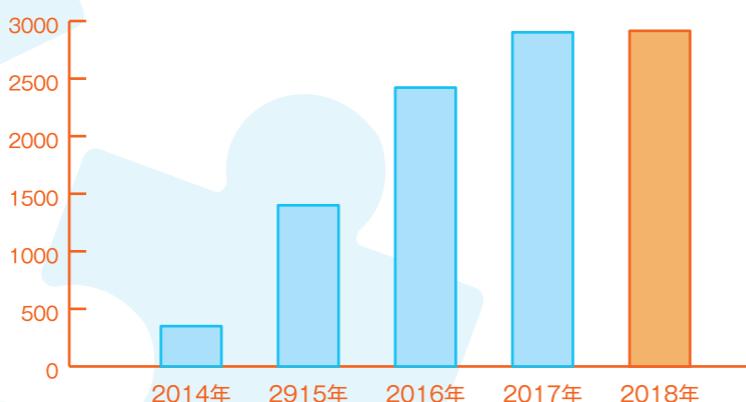
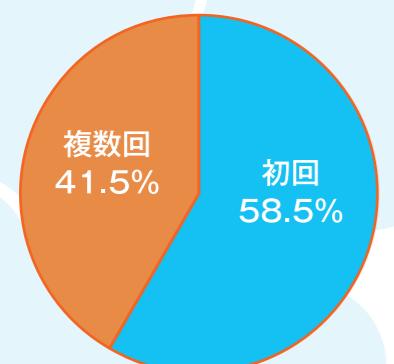


②男女別(世帯主)



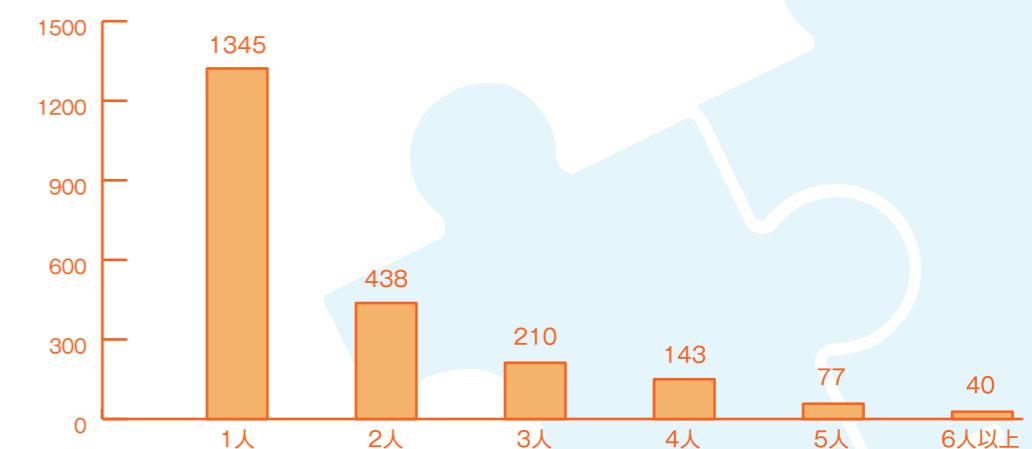
利用される世帯の男女比は男性が67%、女性が33%となり、男性の中高年者の利用が多くを占めています。社会的には人手不足といわれていますが、中高年の再就職は難しく、中高年男性が生活困窮に追いつめられる様子が伺えます。また、利用年齢は昨年と比較してもほぼ同様で50代を中心に40代、60代と続いているいます。

③利用回数別

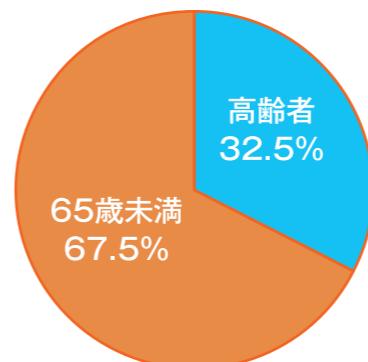


フードバンクを初めて利用される方の58%。約6割の方は初めての利用となります。依頼件数は活動開始以来、右肩上がりとなっていましたが、本年は、昨年の2902件より微増の2915件となりました。

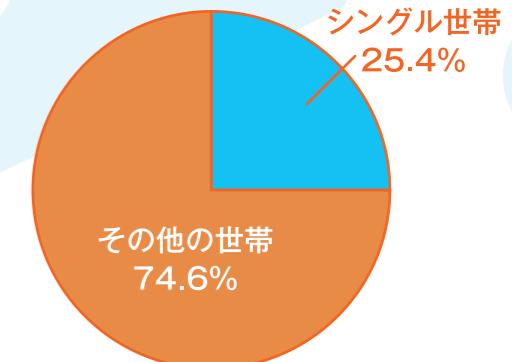
⑤家族構成別



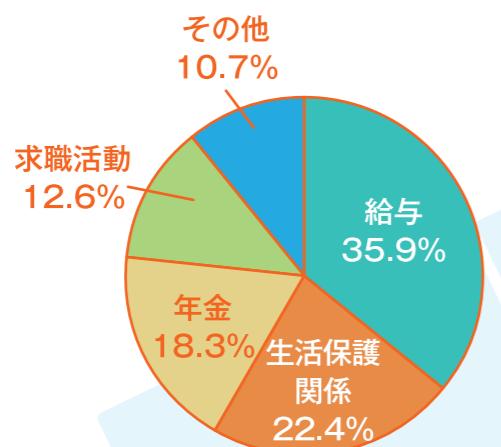
高齢者(65歳以上の割合)



シングル世帯の割合



④利用依頼別



利用依頼別の割合を見ると、「給与までのつなぎ」、次いで「生活保護待機期間等のつなぎ」、「年金までのつなぎ」という順序になりました。昨年は「年金までのつなぎ」が2番目でしたが、今年度は、生活保護待機期間等のつなぎとしての利用が22%となり、昨年より4%の増加となりました。

フードバンクでは相談者のニーズや地域の実態を把握していくために、家族構成調査なども行っています。集計の結果、個族構成は「単身世帯」が最も多く、そのうち「単身高齢者世帯」は33%でした。フードバンク利用者の単身高齢者の割合が3割を超えたのは初めてで、高齢者の貧困問題の深刻さを伺われます。今年度は、支援先のシングル世帯が25%となり「一人親世帯」利用率が増えたのも特徴です。これは行政や社会福祉協議会などが、シングル世帯の支援にフードバンクを積極的に利用していただいたのもと考えられます。

2018年メディア掲載

月	メディア	内 容
7	中日新聞	不要食材 困窮家庭を救う
8	SBSラジオ	フードドライブについて
	中日新聞	生活困窮者らに食糧品を
10	静岡新聞	NPO法人へ飲食品を寄贈(ライオンズクラブ)
	静岡新聞	食品集荷「有効活用を」
1	中日新聞	食品寄付お願いします。(冬季フードドライブ)
	FM島田	島田市長との対談 「市政羅針盤」出演

2018年度活動報告

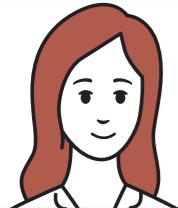
(2018.4.1~2019.3.31)

月	実施内容
4	(株)大丸松坂屋エコフリサイクルキャンペーン フードドライブ
	ろうきんポイントアップ寄付金寄贈式
5	埼玉県子ども食堂ネットワーク 観察
	神奈川県労働者福祉協議会「加盟団体役職員セミナー」 講演
	全労済静岡事業推進本部創立60周年記念事業寄付金贈呈式
6	富士地域労働者福祉協議会寄付金贈呈式
	事業推進委員会(行政対象)
	清水地区労働者福祉協議会定期総会 講演・寄付金寄贈
	日本地域福祉学会シンポジウム パネラー
	事業推進委員会(社会福祉協議会・自立相談窓口対象)
	浜松市フードバンク協議会
	労働者福祉中央協議会東部ブロック「福祉リーダー塾」 講演
7	公益社団法人フードバンクかながわ勉強会 講演
	スズキ株式会社・明電舎株式会社 訪問
	グリフィスフーズ株式会社寄付金寄贈式
	静岡県労働組合評議会勉強会 講演
	鈴鹿市議会議員団 観察
	沼田市議会議員団 観察

月	実施内容
8	夏季フードドライブ
	SBSラジオ出演 フードドライブについて
9	読売新聞朝刊ひと欄掲載
	静岡県労働政策課 観察
10	浜松市自立相談窓口つながり事業報告会 パネラー
	地域IoT事業実施運営委員会 委員参加
	矢崎グループ県内10工場寄付金贈呈式
	ライオンズクラブ国際協会334-C地区(静岡)「統一奉仕の日」寄贈式
	(株)大丸松坂屋エコフリサイクルキャンペーン フードドライブ
	安倍川中学校区健全育成大会 講演
	静岡県西部商工協同組合創立50周年事業寄付金贈呈式
11	静岡県仏教婦人会60周年記念大会(一人お米一合支援)
	静岡市立高校キャリア学習 講義
	静岡ユニオントラベルジェフグルメカード販売寄付金贈呈式
	浜松市フードバンク協議会 定例会議
12	静岡中央高校キャリア学習 講義
	日本心理学会 講演
1	地域IoT事業実施運営委員会 委員参加
	冬季フードドライブ
	静岡県労働金庫労働組合 取材
	FMしまだ島田市長との対談 「市政羅針盤」出演
	富士通クオリティ・ラボ・環境センター株式会社 観察
2	静岡市生活安心課消費アドバイザーフォローアップ研修会 講演
	地域IoT事業実施運営委員会 委員参加



利用者の声



2度目のふせ話をなしました。今回もたくさんの食糧をいただき、子どもたちもお腹いっぱいいただいてあります。本当に感謝でいっぱいです。
ふせ話をになりました。
ありがとうございました！



炊飯器がない為、おかゆにして、美味しい、頂いて、あります。自然食が、なつかしく思ひます。ありがとうございます。助かります。なにもかも自然の味がします。



お米やカップ麺、缶詰など、とても助かりました。
ありがとうございました!!



便利で、おいしい物大変おいしく頂きました。
助かりました。
ありがとうございました。



おそばやうどんがあってとても助かりました。
ぶりかけのりもあって子どもがよろこびます。
本当にありがとうございます。
カレーパン、おかし、コンスープは全て子どもの大好きなものなのでとてもうれしいです。



しづおかキッズカフェ

子ども食堂の献立で必要な調味料や副食類をいつもご提供頂きありがとうございます。中でも油や片栗粉、小麦粉などは毎回沢山使用しますので、大変助かっています。私たちが必要な分はどんなにお忙しくてもご用意してくださり、有難く思っています。スタッフの方々のお心遣いで、菓子類、クリスマスやハロウィンなどのイベント向けの材料や子どもシャンメリーなどもご用意いただいて子どもたちも喜んでいます。「こんなのに食べたことない！」「みんなで作って楽しい」「ポッキンアイスうれしい！」「ハロウィンのオバケマカロニが面白かった」「クリスマスに自分でデコレーションしたケーキを食べて、シャンパン飲めて楽しかった」など子どもたちも毎回楽しみにしてくれています。



株式会社 東海道シグマ 学習支援教室

学習支援教室の子ども達に、学習の合間にお菓子やジュースを提供しています。休憩の時のお菓子やジュースが子どもたちは楽しみです。年末には、頂いたもち米で餅つき大会をして子ども達と楽しみました。餅つきが初めての子どもが多く、にぎやかに、おろしやあんこ餅にしていただきました。



多文化共生を考える 焼津市民の会「いちご」

先日お預かりした、チョコレートや食料品を「焼津フィリピーノ・コミュニティ」の皆さんに渡してきました。みなさん、大変喜んでくれました。またよろしくおねがいします。



5 後援企業・団体

運営協力企業・団体

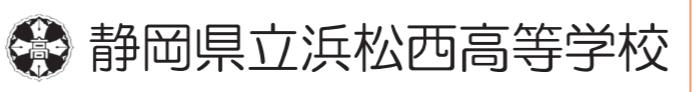
食料提供企業

スーパ各店舗でご協力をいただいている皆様

缶詰協会様よりご協力をいただいている皆様



2018年度、新しくご協力をいただいた皆様



※掲載を希望された企業・団体様のみ掲載しています。



静岡県労働金庫

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済静岡推進本部



一般社団法人
静岡県労働者福祉協議会

ALWF
Association of Laborers' Welfare Fund
of Shizuoka Prefecture

公益財団法人
静岡県労働者福祉基金協会



静岡県生活協同組合連合会



特定非営利活動法人
青少年就労支援ネットワーク静岡



特定非営利活動法人
POPOLo



特定非営利活動法人
ワーカーズコープ



日本食品関連産業
労働組合総連合会



全日本運輸産業労働組合
静岡県連合会



※掲載を希望された企業・団体様のみ掲載しています。



寄付団体一覧

グリフィスフーズ株式会社
スズキ株式会社
(株)静鉄ストア
静岡県西部商工協同組合
矢崎グループ 県内10工場
静岡県労働金庫（ポイントアップ寄付）
全労済静岡推進本部
株式会社静岡ユニオントラベル
静岡県生活協同組合連合会
運輸労連静岡県連合会
ライオンズクラブ国際協会334-C地区(静岡県)
沼津香陵ライオンズクラブ
沼津駿河ライオンズクラブ
沼津千本ライオンズクラブ
沼津中央ライオンズクラブ
沼津ライオンズクラブ
森町ライオンズクラブ

静岡県佛教婦人会
曹洞宗静岡県第一宗務所青年会
焼津市佛教婦人会
静岡県労働組合評議会
清水市民活動センター
生活クラブ生活協同組合
日本環境マネジメント株式会社
有限会社サトル精工
小笠南地区労働者福祉協議会
志太榛原地域労働者福祉協議会
清水地区労働者福祉協議会
浜松市労働者福祉協議会
(第33回労福協まつり収益金寄付)
富士地域労働者福祉協議会
(住宅フェスティバル・メードー収益金寄付)

※掲載を希望された団体様のみを掲載しています。



賛助会員一覧

一般財団法人静岡県年金福祉協会
一般財団法人静岡県労働者信用基金協会
一般社団法人静岡県労働者福祉協議会
伊東熱海地区労働者福祉協議会
磐田地区労働者福祉協議会
A G C テクノグラス労働組合
エフ・シーシー労働組合
遠州鉄道労働組合
小笠南地区労働者福祉協議会
オカモト労働組合静岡支部
掛川市職員組合
掛川地区労働者福祉協議会
賀茂地区労働者福祉協議会
公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会
湖西地区労働者福祉協議会
相良仏教会
静岡英和女学院中学校高等学校宗教部
静岡教職員組合湖西支部
静岡教職員組合駿東支部(北駿地区労福協)
静岡教職員組合駿東支部(裾野地区労福協)
静岡県教職員組合
静岡県生活協同組合連合会
静岡県退職者福祉協議会
静岡県佛教婦人会
静岡県労働金庫
静岡県労働金庫部店課長会
静岡県労働金庫労働組合
静岡県労働組合評議会
静岡地区退職者共済会
静岡地区ろうきんグリーン友の会
静岡地区労働者福祉協議会
株式会社静岡ユニオントラベル
静清教職員組合
JEC連合静岡地方連絡会
志太地区労働者福祉協議会
しだい地区ろうきんグリーン友の会
島田榛北地区労働者福祉協議会
清水地区労働者福祉協議会
社会福祉法人松崎町社会福祉協議会
ジャストライン労働組合
スズキ関連労働組合連合会
スズキ労働組合
鈴与職員労働組合
裾野地区労働者福祉協議会
住友ベークライト労働組合静岡支部
全矢崎労働組合大浜支部
全矢崎労働組合島田支部
全矢崎労働組合裾野支部
全矢崎労働組合大東支部
全矢崎労働組合天竜支部
全矢崎労働組合沼津支部
全矢崎労働組合榛原支部
全矢崎労働組合浜松支部
全矢崎労働組合富士支部
全矢崎労働組合鷺津支部
全労済静岡推進本部
田方地区労働者福祉協議会
中部電力労働組合静岡総支部
電機連合静岡地方協議会
特種東海製紙島田支部
特種東海製紙三島支部
トクラス労働組合
トヨタ自動車東日本労働組合
日本製紙労働組合富士支部
沼津地区労働者福祉協議会
榛南地区労働者福祉協議会
浜名湖電装労働組合
浜松市教職員組合
浜松市労働者福祉協議会
フード連合静岡地区協議会
袋井地区労働者福祉協議会
藤枝地区退職者福祉協議会
富士地区労働者福祉協議会
富士通ケルティボ 環境センター(株)
富士宮地区労働者福祉協議会
富士フィルム労働組合吉田支部
プライムアースEVエナジー労働組合
ベルソニカ労働組合
北駿地区労働者福祉協議会
三島地区労働者福祉協議会
三菱アルミ労働組合
村上開明堂労働組合
明電舎労働組合沼津支部
焼津地区退職者共済会
ヤマハ発動機労働組合
ヤマハ労働組合掛川支部
ヤマハ労働組合天竜支部
ヤマハ労働組合豊岡支部
ヤマハ労働組合本社支部
ユニバーサル製缶労働組合富士小山支部
ユニバンス労働組合
ライフサポートセンター友の会
連合静岡
ろうきんグリーン友の会県連絡会
他個人485名

※掲載を希望された会員様のみを掲載しています。(50音順)

2018年度寄贈式



グリフィスフーズ株式会社



全労済静岡推進本部



矢崎グループ 県内10工場



静岡県労働金庫 ポイントアップ



株式会社静岡ユニオントラベル

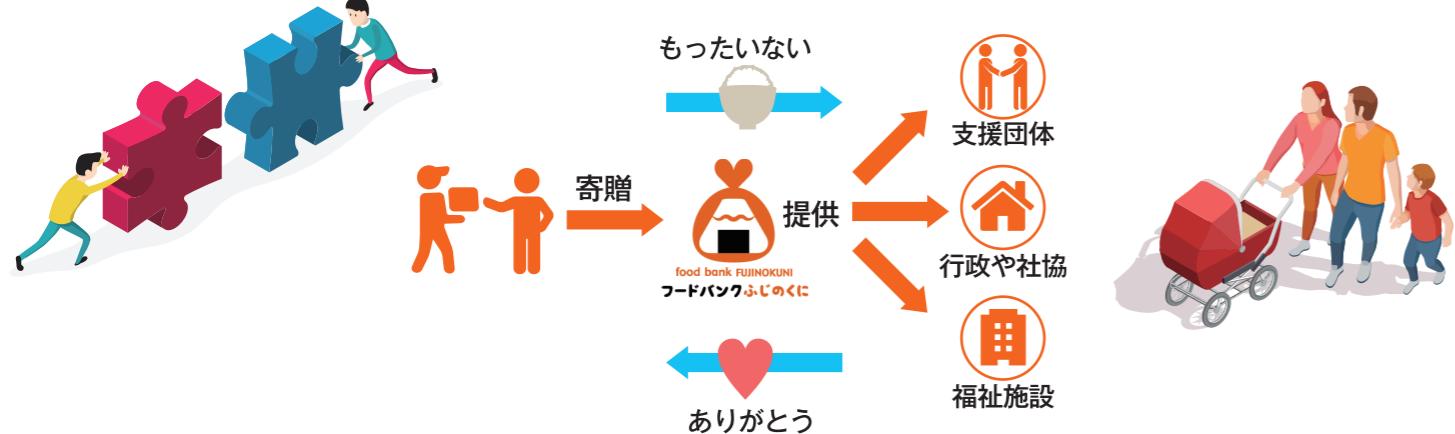
ご寄付いただき
ありがとうございました。



6 会員募集 ボランティア募集

寄付を募集しています！

フードバンクとは？



フードバンクとは、品質に問題のないものの、やむなく捨てられてしまう食料を無償で提供していただき、支援を必要とする福祉施設や行政・社会福祉協議会・支援団体を通じて食べる物がなくて困っている方へ食料をお渡しする活動です。事業の性質上、利益を得ることが困難なため、**皆様からのご寄附**が頼りです。

フードバンクふじのくに

フードバンクふじのくには**公益性の高い団体**を目指し、さまざまな団体から成り立っています。



フードバンクふじのくには 認定NPO法人です

認定NPO法人とは、一定の要件を満たして所轄庁の認定を受けたNPO法人で、認定NPO法人に寄付をした人は**税制上の優遇措置**を受けることができます。



food bank FUJINOKUNI
フードバンクふじのくに
「もったいない」から「ありがとう」へ

理事長	静岡大学教授 日詰一幸
副理事長	静岡県労働者福祉協議会 静岡県生活協同組合連合会
理事	静岡県労働者福祉基金協会、連合静岡、 青少年就労支援ネットワーク静岡、 ワーカーズコープ、静岡県ボランティア協会、 POPOLO、NPOサポート・しみず
監事	静岡県労働金庫 中遠地域労福協

2018年度の活動報告書は、印刷部数4000部・一冊単価61円で作成しています。

サポーターを募集しています！



特定非営利活動法人フードバンクふじのくにでは、活動を支えていただけるボランティアの方を募集しています。

ボランティアスタッフ

食料の仕分けや配達などで、活動を支えていただけるボランティアの方を募集しております。

賛助会員

事業の性質上収入が生まれるものではないため、皆様のご寄付が頼ります。私どもの活動にご賛同いただける方は、ぜひ、お願ひいたします。

活動にご賛同いただける方はお手数ですがお電話かメールにてご連絡下さい。

1.個人賛助会員
入会金 0円
年会費2,000円(一口)

2.団体賛助会員
入会金 0円
年会費5,000円(一口)

口座番号	口座
	静岡県労働金庫 本店営業部 普通 4493436
名義	名義
	特定非営利活動法人フードバンクふじのくに 理事長 日詰一幸

お問合せ先



認定NPO法人
フードバンクふじのくに
〒420-0071
静岡市葵区一番町50番地
番町市民活動センター2階

事業実施場所
〒420-0868
静岡市葵区宮ヶ崎町53番地
TEL 054-248-6177 / FAX 054-248-6178
URL <http://fb-fujinokuni.org/>
mail info@fb-fujinokuni.org